

「拡張万博とは」

2023年2月28日(火)

稲田 義久

16:30~17:00

@リノアス8F みせるばやお

1. 拡張万博とは

1. 大阪・関西万博
2. 拡張万博の経済効果をどう測るか
3. 八尾市で拡張万博を盛り上げると

- ◆ **拡張万博**とは、「万博のテーマ・時間軸・空間軸の概念を拡張し、関西全体を仮想的なパビリオンに見立て、万博本体では実施しにくい事業も含めて様々な経済活動を展開する取り組み」を指す
- ◆ 国際博覧会協会および大阪市の**公表資料**をもとに、APIRが新たに作成した**2015年関西地域間産業連関表**を用いて、大阪・関西万博の経済効果を試算
 - ◆(1)**ベースケース**：夢洲会場を中心として開催される場合の経済効果
 - ◆(2)**拡張万博ケース**：新たに関西のパビリオン化という概念を取り入れた経済効果
- ◆ **各事業主体が連携し共同発信**することで、**相乗効果の実現**だけでなく、**地域住民の誇りをも醸成**

- ◆2015年ミラノ国際博覧会：Feeding the Planet, Energy for Life(地球に食料を、生命にエネルギーを)
- ◆2020年ドバイ国際博覧会：Connecting Minds, Creating the Future(心をつなぎ、未来を創る)
- ◆2025年日本国際博覧会：Designing Future Society for Our Lives(いのち輝く未来社会のデザイン)(表4参照)

表4 過去の国際博覧会との比較

	2020年 ドバイ国際博覧会	2025年 日本国際博覧会 (大阪・関西万博)	2015年 ミラノ国際博覧会
開催期間	2021年10月1日～22年3月31日	2025年4月13日～10月13日	2015年5月1日～10月31日
会期日数	182日間	184日間	184日間
メインテーマ	「Connecting Minds, Creating the Future (心をつなぎ、未来を創る)」	いのち輝く未来社会のデザイン	地球に食料を、生命にエネルギーを (Feeding the Planet, Energy for Life)
ロゴマーク			
総来場者 目標数	2,500万人	2,820万人	2,000万人
総来場者数	2,410万人	—	2,150万人
会場規模	438 ha	155 ha	110ha
参加国・地域、国際機関数	192カ国・地域、10機関	150カ国・地域、25機関(目標)	145カ国・地域、3機関
チケット代	1日パス(大人) ¥2,850 マルチパス(30日間) ¥5,850 会期中パス ¥14,850 18歳未満、学生、60歳以上「無料」 換算レート ¥30	1日(18歳～64歳) ¥6,000* 1日(12歳～17歳) ¥3,300* 1日(4歳～11歳) ¥2,000* 1日(65歳～80歳) ¥5,000* 3歳以下、80歳以上「無料」* 換算レート ¥30	1日パス大人(14歳～64歳) ¥5,300 1日パス学生(14歳～25歳) ¥4,420 1日パス(4歳～13歳) ¥2,140 1日パス(65歳以上) ¥3,750 3歳以下「無料」 換算レート ¥134
日本館のロゴ・シンボルマーク		—	
日本館のテーマ	Where ideas meet アイデアの出会い	いのちと、いのちの、あいだに -Between Lives	Harmonious Diversity -共存する多様性-

*日本経済新聞社「大阪万博の入場料 6000円で検討」(2022年6月20日付、<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUF1845O0Y2A610C2000000/>)。資料)各所報道発表資料を基にAPIRにて作成

EXPO 2025 Chronologyから：インフラマップと予算

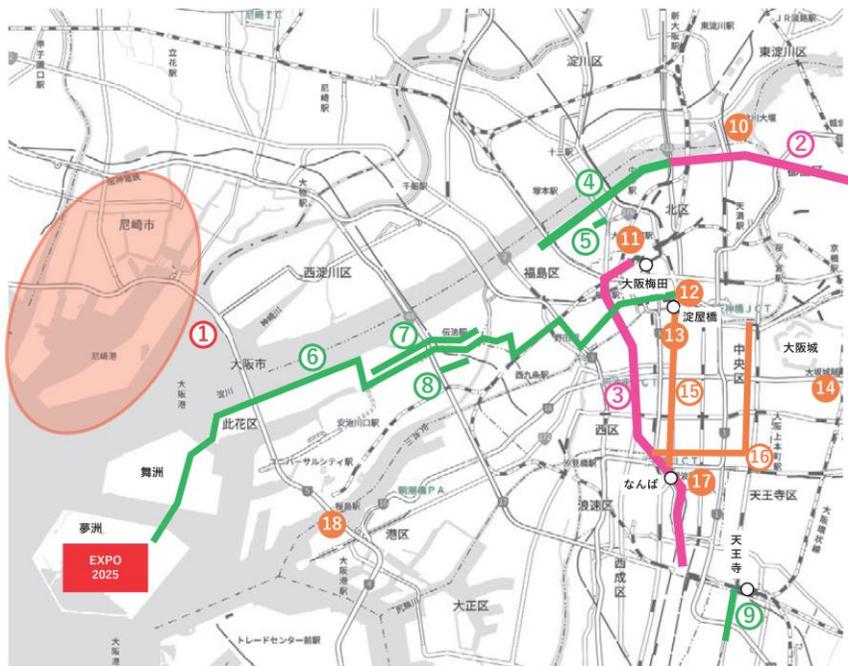


表5 大阪市令和4年度予算にかかるインフラ整備概略工程（案）

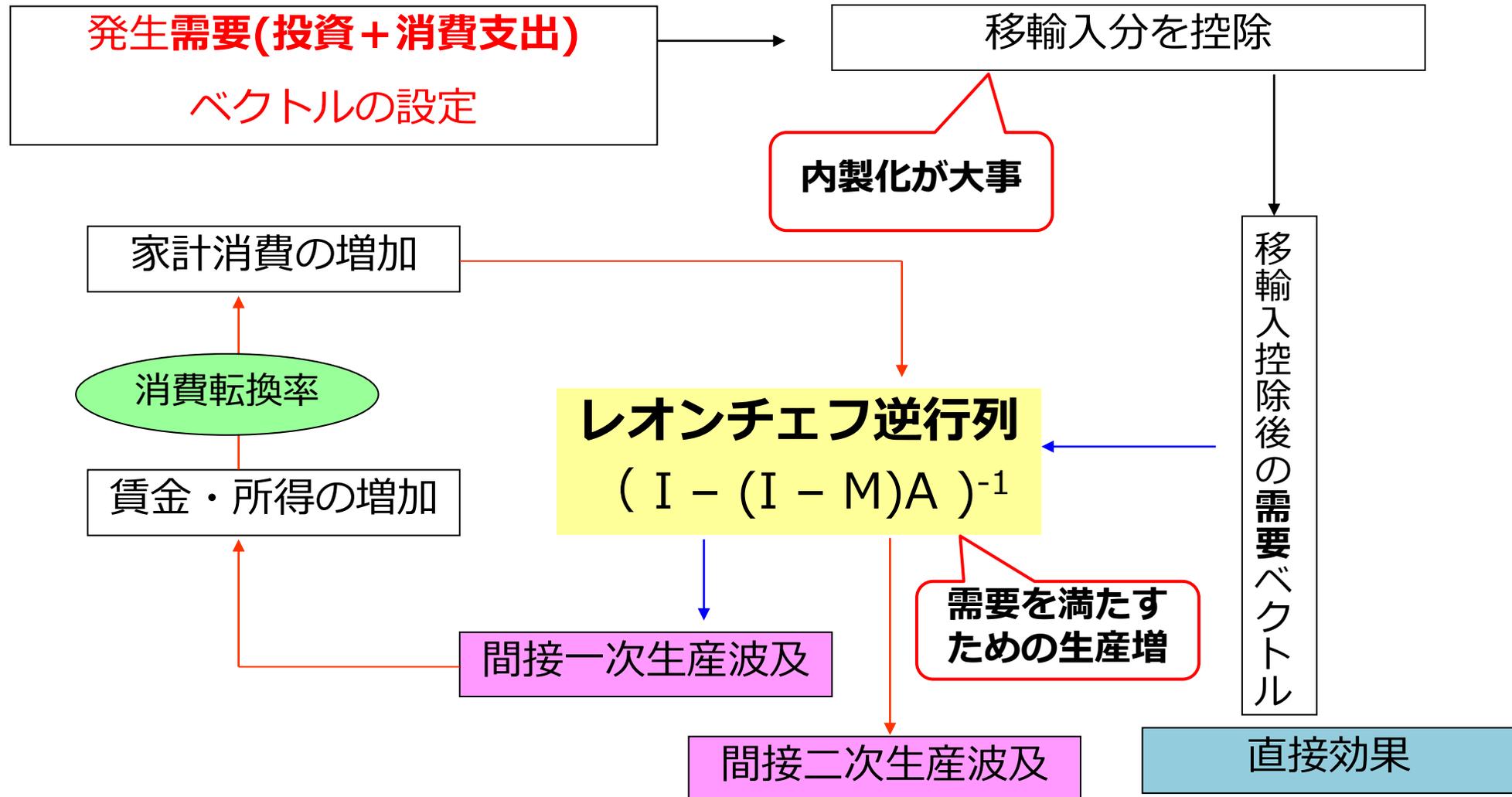
項目	事業費 [億円]	2018 H30	2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	～2033 ～R15	インフラ整備 箇所図番号
2025年日本国際博覧会									開催(4～10月)						
IR															
埋立・盛土(万博)	89														
埋立・盛土(IR)	13														
観光外周道路	49														[1]
高架道路	98														[2]
駅前施設	30														[3]
下水道(抽水所、排水管等)	115														[4]
上水道(ポンプ、配水管等)	34														[5]
[事前調査]	1														
鉄道(南ルート)	346														[6]
[インフラ部]	230														
[II期まちづくり開発]	33														
夢洲幹線道路	10														[7]
舞洲幹線道路	34														[8-1]
舞洲東交差点立体交差化	26														[8-2]
此花大橋(車道(6車線化等)・歩道)	2														[9]
夢舞大橋(車道(6車線化)・歩道)	2														[10]
咲洲コスモ北線	1														[11]
(浮桟橋・待合所)	10														[12]
係留施設等	10														
(波除堤)															
インフラ整備費 計	1,121														
消防拠点整備	20														
インフラ整備費(消防拠点整備含む) 計	1,141														
土地改良(IR用地)	788														
合計	1,929														

資料) 大阪市報道発表資料 夢洲におけるインフラ整備 (2022年2月16日)

図2 万博関連のインフラ整備計画図

P.216・217参照

経済波及効果を計算する産業連関表



◆大阪・関西万博に伴う投資支出額等から最終需要を想定

大阪・関西万博に伴う投資支出額等

1-1. 会場建設費（主催者）

（億円）

2-1. 運営費（主催者）

3. 関連基盤整備

基盤整備（土木造成、舗装、修景工事等）	130
基盤設備整備（電気、給排水工事等）	285
駐車場、エントランス	171
パビリオン施設、サービス施設	1,103
会場内演出	50
その他（調査設計費、事務費）	108
合計	1,847

企画事業・輸送事業等	565
会場管理・管理人件費等	146
広告・宣伝等	58
計画・事業調整等	39
合計	809

鉄道整備等（地下鉄中央線延伸および輸送力増強等）	610
道路改良等（此花大橋・夢舞大橋拡幅等）	250
南エリア埋立の追加工事費用	89
その他	179
合計	1,128

関連基盤計 1,128

1-2. 会場建設費（出展者）

2-2. 運営費（出展者）

パビリオン施設、サービス施設	495
会場内演出	49
その他（調査設計費、事務費）	106
合計	650

会場管理・管理人件費等	876
広告・宣伝等	350
計画・事業調整等	234
合計	1,460

建設費計 2,497

運営費計 2,269

合計 5,894

（資料）2025年日本国際博覧会協会「基本計画」および観光庁「旅行・観光消費動向調査」より作成

P.183参照

万博来場者の消費効果を測る

- ◆ **来場者の消費支出**：来場者数×1人当たりの消費単価
- ◆ **来場者数の想定**：国内来場者2,470万人、大阪府と関西広域エリアから約1,560万人、全国関西以外の国内地域から約910万人(1泊)、海外から約350万人(3泊)と計2,820万人
- ◆ 関西以外の国内地域からの来場者は宿泊客、宿泊場所は、大阪府内で宿泊
- ◆ **拡張万博の想定**：ケース1では国内宿泊客の泊数は1泊2日から2泊3日、海外客は3泊4日から5泊6日に、それぞれ増加。ケース2ではケース1に加えて、日帰り客の交通費・飲食費・娯楽サービス費が20%増加と想定。**ケース2の事例として、HANAZONO EXPOが相当する**
- ◆ 関西各自治体の努力により、すなわち関西各府県のパビリオン化により国内日帰り客が更に20%増加し、大阪以外の当該地域を訪問することを想定

来場者による消費支出(単位：億円)

基準ケース

	国内 日帰り客	国内 宿泊客	海外	計
交通費	1,196	738	198	2,132
宿泊費	0	838	562	1,400
飲食費	540	404	412	1,356
買物代	832	357	633	1,822
娯楽サービス	777	303	76	1,155
計	3,344	2,640	1,881	7,866

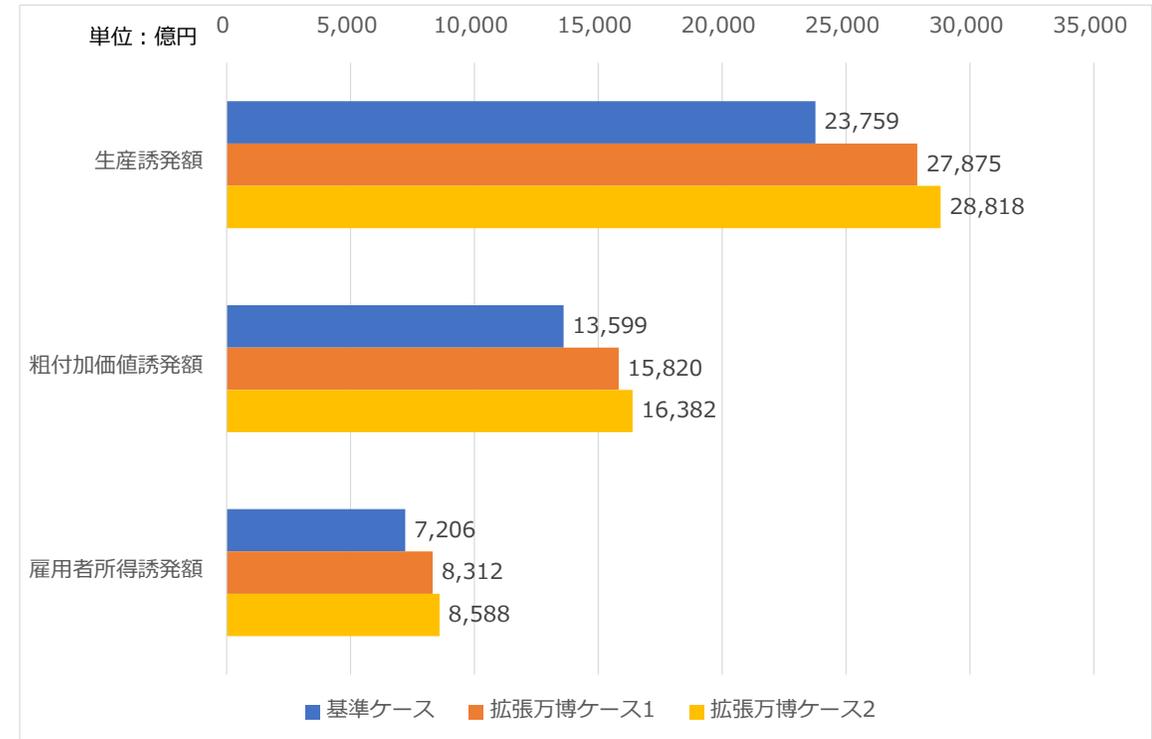
拡張万博ケース1(宿泊増)

	国内 日帰り客	国内 宿泊客	海外	計
交通費	1,196	1,107	297	2,600
宿泊費	0	1,676	937	2,613
飲食費	540	606	619	1,765
買物代	832	357	633	1,822
娯楽サービス	777	454	114	1,345
計	3,344	4,201	2,599	10,144

拡張万博ケース2(宿泊増+日帰り客増)

	国内 日帰り客	国内 宿泊客	海外	計
交通費	1,435	1,107	297	2,839
宿泊費	0	1,676	937	2,613
飲食費	648	606	619	1,873
買物代	832	357	633	1,822
娯楽サービス	932	454	114	1,500
計	3,847	4,201	2,599	10,646

- ◆ 「拡張万博ケース1と2」の最終需要の想定をもとに、「基準ケース」と比較
- ◆ 生産誘発額(slide19)は、基準ケースでは2兆3,759億円、拡張万博ケース1では2兆7,875億円、拡張万博ケース2では2兆8,818億円と試算
- ◆ 拡張万博の効果を考慮した場合、基準ケースより約4千～5千億円程度の上振れ



	基準ケース	拡張万博ケース1	拡張万博ケース2	上振れ: ケース1	上振れ: ケース2
単位	億円	億円	億円	%	%
生産誘発額	23,759	27,875	28,818	17.3	21.3
粗付加価値誘発額	13,599	15,820	16,382	16.3	20.5
雇用者所得誘発額	7,206	8,312	8,588	15.3	19.2

八尾市で拡張万博を盛り上げると

- ◆ 経済効果の地域別シェアをみれば、大阪府のシェアが基準ケースの74.5%から、拡張万博ケース2では62.4%まで低下
- ◆ 今回新たに推計されたケース2では延泊と日帰り客の増加により、各府県への経済効果がさらに高まる
- ◆ 万博のパビリオン化は決定的に重要

	基準ケース	拡張万博ケース1	拡張万博ケース2	拡張万博ケース 1-基準	拡張万博ケース 2-基準	拡張万博ケース 2-ケース1	基準ケースシエ ア	拡張万博ケース1 シェア	拡張万博ケース2 シェア
福井	70	251	288	181	218	37	0.3	0.9	1.0
三重	313	664	795	351	482	131	1.3	2.4	2.8
滋賀	183	399	469	216	286	70	0.8	1.4	1.6
京都	223	1,618	1,779	1,395	1,556	161	0.9	5.8	6.2
大阪	17,707	17,927	17,974	220	267	46	74.5	64.3	62.4
兵庫	684	1,318	1,532	634	848	214	2.9	4.7	5.3
奈良	97	169	216	72	119	47	0.4	0.6	0.8
和歌山	177	343	383	166	206	40	0.7	1.2	1.3
鳥取	28	151	183	123	155	32	0.1	0.5	0.6
徳島	75	182	205	107	130	23	0.3	0.7	0.7
その他地域(関西以外)	4,201	4,854	4,994	652	792	140	17.7	17.4	17.3
総計	23,759	27,875	28,818	4,116	5,059	943	100.0	100.0	100.0

- ◆ 花園EXPO :
- ◆ 2022年11月5～6日に開催
- ◆ 当初の想定来場者数は2万人であったが、最終来場者数は7万人まで上振れ



1人当たり儲け額：八尾市vs.東大阪市

- ◆ 経済センサスから計算すれば、
- ◆ 2015年の1人当たり付加価値額を八尾市と東大阪市内で比較すれば、
- ◆ **電気機械器具、化学工業、非鉄金属**が高い

